

創刊のあゆみ

古来よりのアジアの国々との交流を物語る金印や鴻臚館、そして博多祇園山笠。海に開かれた豊かな自然と風土は、私たちのふるさとに繁栄をもたらし、自由かつたつな市民の気風と豊かな文化を育んできました。この悠久の歴史に培われた国際的で進取の精神に富んだ福岡・博多の文化は、急激な都市化の波に洗われながらも、雰囲気やたたずまいとして、また市民の気質として今もこのまちに息づき、人々の交流と活力を生みだしています。

魅力的な都市景観は、都市という文化の所産であり、文化を育む市民の感性がすぐれた都市景観を育て、またすぐれた都市景観が市民の感性を育てるともいえます。社会生活が量から質の時代へ向かうなかで、福岡市ではアメニティ・生活環境の快適さを求める市民の声に応えて、1987年に「都市景観条例」を、翌年には「都市景観形成基本計画」を定めました。この計画を基本として、博多駅前へのヘンリー・ムーアなど、すぐれた彫刻を設置する彫刻のあるまちづくり、福岡城址などのライトアップ、都市サイン整備などによる個性的な都

市景観の演出に取り組みとともに、シーサイドももちや都心部ウォーターフロント整備などの海に開かれたまちづくり、緑地の保全や緑化推進による自然と調和した緑のまちづくりなど、魅力的でうるおいのある都市づくりを進めてまいりました。

時代の流れは今、地方分権の推進へと向かっています。地域に根ざした「文化」の視点による市民主体のまちづくりの復興です。私たちのまち・福岡が、さらに住みやすく魅力的な表情をもった都市となるよう、市民のみなさんには「まちづくりの主役」として積極的に参加していただき、個性ある新しい都市文化を創造するとともに、都市景観を市民共有の財産として誇りあるものにつくりあげてまいりたいと思います。

その一歩として「豊かな自然と悠久の歴史に培われた福岡にふさわしい風格のある美しいまちづくり」を願い、みなさんとともに福岡の都市景観について学習し、語り合うコミュニケーションの場として、福岡市都市景観情報誌『彩都』を創刊します。



福岡市長 桑原敬一